

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市障がい者福祉センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市船倉町1275番地6 名称 社会福祉法人 倉敷市社会福祉事業団 代表者 理事長 小郷 三男
(3) 公の施設の所管部署	社会福祉部 障がい福祉課
(4) 評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	今年度は、「利用者にあった適切な事業の実施状況について」を重視して評価した。 障がい者福祉センターでは利用者の要望に応え新規講座を開講している点、既存の講座も感染症対策を講じ、徐々に再開し、引き続きリピートしたいといった声がアンケートで確認できるなどニーズをとらえている点は評価できる。	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	令和4年度、新型コロナウイルス感染症は、感染拡大と減少を繰り返して完全終息を見通せない状況が続き、倉敷市障がい者福祉センターでは、前年度から引き続き中止したままの講座もある中、感染防止対策を講じて再開した講座もありました。クラスタの発生を防止するため、手指消毒やマスク着用はもとより、パーティションやフェイスガードの使用、カラオケ講座ではマイクは共有使用せず、各自専用とするなど、各講座の特性に応じた感染防止対策を検討実施しました。利用者の皆様には、不便や不自由をおかけした部分もありましたが、そのような対策が奏功したためか、センター内での感染は、疑い事例も含め1件も発生しませんでした。 令和5年度も適切な安全対策を実施しながら、講座の充実や貸館の利用拡大を図り、より多くの障がい者の方々に倉敷市障がい者福祉センターを安心して安全に利用していただき、地域活動支援センターとしての役割を果たしてまいります。	

(3) アンケート結果の概要	<p>管理運営及び講座内容については、概ね満足している。全体の満足度は98.8%であった。</p> <p>アンケート結果については、別紙のとおり。</p>
----------------	---

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	項 目	今年度	前年度	特記事項
	延利用者数	2,708	1,965	前年度比 138%
	施設利用回数	427	308	前年度比 139%
(2) 事業の内容	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため中止していた「カラオケ・書道・手話・中途失聴の方のための手話・絵手紙・編み物・木彫」の各講座は、感染防止対策を講じた上で再開しました。「表装」講座はまだ再開できていませんが、講師とも相談しながら再開に向けて準備を進めています。</p> <p>令和3年度から開講している「フラワーアレンジメント」講座は、福祉団体の要望を受けて定例回とは別に臨時開催し好評を博しました。その他一回だけの「家庭でできるアロマ活用法」講座と「出前健康体操教室」講座など新しい講座も開催して受講ニーズを確認しながら講座利用者の拡大を図っています。</p> <p>講座や貸館では今後も必要な安全衛生対策を実施し、安心して活用いただける環境整備を進めながら、倉敷市障がい者福祉センターの広報に努め、市民のニーズに沿った講座開設や運営に取り組みます。</p>			

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 13,198千円 市からの指定管理料(委託料) 12,796千円 その他の収入 402千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 13,066千円 主な支出	人件費 5,837千円 講師謝礼金 1,635千円 水道光熱費 1,110千円 保守料 1,059千円 本部繰入 914千円